

返々、其以来ハ

御様子如何と

承度候き、御仕合好

相濟申候由、於某

満足仕候、此表之儀

御用之子細候ハ、必々

可蒙仰候、可令馳走候

事候、期後音候、

如御札新年之御慶

雖子細候、猶更不可有

(徳川)

休期候、仍家康へ為御

音信、鼓之皮被進候、

祝着被存候、殊私へ梅

染三端送給候、日出候、

自是態斗児玉之

鞦三具進覽之候、併

表祝詞候、兼者去年ハ、

其元之儀無御心許被存候

条、以飛脚被申候き、貴辺之

御事、無殘所御仕合好候由、
目出不可過之候、何様追而
可被啓達候、恐々謹言、

(本多)

二月九日

正信 (花押)

(秀現)

徳山五兵衛尉殿

御報